



あおぎりの花

ともに学び ともに生きる 心美しき子ども

第6号（神無月）

令和7年10月9日

山梨大学教育学部附属小学校

<https://www.agr.yamanashi.ac.jp/>

文責：山本

実りの秋がやってきました！！



10月8日は二十四節季の一つ「寒露（かんろ）」。

朝晩の冷え込みが厳しくなり、夜露がつめたく感じられる頃とされます。観測史上最も暑いと言われた今夏を乗り越え、運動会の練習に一生懸命取り組んできた子供たちの心身を癒やすためにも、この後は、過ごしやすい季節になってほしいものです。10月23日には「霜降（そうこう）」を迎え、いよいよ秋の気配が深まっていきます。気がつけば、次の節季は「立冬」。あっという間に時は移ろっていくだけに、絶好の秋の季節の一日一日を大切に、生活・学習両面において実りの秋となるよう取り組んでいきたいと思ひます。

大成功！！創立150周年あおぎり大運動会

テーマ「心を一つに限界突破 勝利の道へ導くバトン」

～最高の思い出 笑顔あふれるあおぎりの子 創立150周年あおぎり大運動会～

運動会特別日課において行われた全校練習で、副校長より児童に話をする機会がありましたので、運動会でがんばってほしいことを伝えました。それは、2学期の始業式でも全校に伝えた「お友達を大切にしてほしい。」ということです。他者の立場や気持ちに想いを寄せ、思いやる言動を行うことのできる力は、小学校生活においても、将来的な社会での自立においても、重要な資質・能力だと考えます。

運動会本番に限らず、普段の生活のなかでも、589人一人一人が自分の良さを生かし、足りない部分を補い合って取り組んで欲しいと思ひます。友達のチャレンジを応援することでもいい、うまくいわずに落ち込んでいる友達を励ますことでもいい、誰よりも学級の仕事ををがんばることでもいい、友達にあたたかい言葉をかけることでもいい、お互いが友達を大切にしたい、「ありがとう」をたくさん言えるような学校生活にしてほしいと願っています。

厳しい残暑のなかでの運動会の取組ではありましたが、幸いなことに今年度も大きな事故やけがなく特別日課期間を過ごすことが出来ました。保護者の皆様の日頃のご家庭における健康管理・指導に心より感謝申し上げます。また、運動会当日も、大きなご声援をいただくとともに、PTAの皆様を中心に準備・運営・片付け等に多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

運動会スナッフ写真集

裏面あり→

※HP版では非表示として
います。

※HP版では非表示として
います。

※HP版では非表示として
います。

▲1年「いちにちいっぽのアドベンチャー」

▲2年「お日さまヒーロー！」

▲3年「150年の風～フラッグ心をつに」

※HP版では非表示として
います。

※HP版では非表示として
います。

※HP版では非表示として
います。

▲4年「Iris Beat!!」

▲5年「AOGIRIソーラン2025」

▲6年「ともに組み立てようじゃないか」

※HP版では非表示としています。

※HP版では非表示としています。

教育実習が終了しました！

9月30日に、3週間にわたる前期教育実習が終了しました。前期は、52名の実習生を受け入れ、各学級に2～3名ずつ配属され、日々の授業や学級指導など、様々な教育活動を経験してもらいました。子供たちにとって年齢の近いお兄さん・お姉さんのような先生方との交流は、とても充実していたようです。

30日のお別れの式では、多くの子供たちが大きな拍手と歓声で実習生を体育館に迎え入れ、名残を惜しんでいました。

また、実習生も、子供と担当教諭への感謝と謙虚な気持ちを常に忘れずに、教育実習に臨むことができたように感じています。

特に小学校教員のなり手不足がさげられる昨今、実習生一人一人がこの附属小学校での出会いを胸に、教職に向けて勉強を重ね、晴れて新任教員として現場に出ることを期待しています。

保護者の皆様におかれましては、教育実習の実施にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

※HP版では非表示としています。

※HP版では非表示としています。

保護者の皆様へのお願い（登下校中のトラブルについて）

児童間の登下校中のトラブルやけんか等について、学校に相談が寄せられることが多くなっています。自力登下校1時間以内を通学区域とする本校にとって、安全に登下校できることは必須の条件であり、学校の決まりにおいても登下校の仕方や公共交通機関の利用の仕方について、他の人の迷惑にならないよう定められています。

学校では通学別児童会を通じて、公共交通機関を利用した登下校について、主に次の3点を継続的に指導しています。

・必要のない話はしない ・必要のない移動はしない

・バス停や駅のホームで待つときは、静かにまとまって待つ（走ったり騒いだりしない）

上記に限らず、今後も学校において粘り強く指導をしていきます。一方、登下校中の出来事全てを学校が把握し、対応したり、防止したりすることは大変困難であることをご理解いただき、ご家庭におけるお子様へのお声掛け、ご指導をぜひお願いします。

学校では、児童間のトラブルの多くが教師や見知った大人の目の届かない場面で発生することを踏まえ、長期的には子供の自己指導能力…その場、時に応じてどのような行動が適切であるか、自ら考え、決定し、行動につなげる力…を育てていきたいと思えます。そのために、学級活動を要としつつ、学校生活の様々な課題について、自ら考え、話し合い、意思決定する機会を多く取り入れていきたいと考えています。

保護者の皆様におかれましても、子供たちの安心・安全な登下校のために、ご理解とご協力を何卒よろしくお願いします。